

伊勢湾台風写真台帳



写真名称：	木曽岬村雁ヶ地付近の木曽川左岸の破堤箇所を下流側から望む	現地状況、コメント等
エ リ ア：	三重県	伊勢湾台風被災後に、被災状況を把握するために踏査したときのものである。 木曽川左岸 3.7k 地先(脇付)の様子とされている。 踏査時の調査表には以下のように整理されている。 <10月14日 災害状況調査表> ●堤防の様子／嵩上げ堤か：嵩上げ堤、旧堤部はどうか：旧堤部も破堤、法線方向：北北西、道路を兼用しているか：兼用、土質：砂質土、水防状況：不可能 ●溢流しているか／溢流している、その時刻：20時～20時30分、溢流深(波立)：≒1.0m ●波の来た方向：南南東、しぶきがこしたか：しぶきあった、その高さ：≒2.0m以上 ●木の傾いている方向：北北東、何度位(地面に対し)：40°～50°、樹種：マツ ●電柱が傾いている方向：北北東、何度位：60°～50°、電線がついているか：ついている ●草がねていたか：ねていた、その方向：北、場所：表法肩、大きさ：≒1～2m ●灌木は残っているか：残っていない、堤内地の家の壊れ方／壁、屋根、柱：流失全滅
撮影箇所：	木曽岬村	
撮 影 日：	1959 年	
撮 影 者：	旧建設省	
資料提供者：	木曽川下流河川事務所	
状 況：	一	
撮影位置		